	平成 24 年 9 (2012 年)	月 日			
吹田市長	あて				
	住所 高槻市上田辺町1番3	0号			
	※注1 アンフィニィ・ホーム株	式会社			
	事業所 代表取締役 百田	敏男			
	電話 (072) 670	— 3535			
 事業の名称	(仮称)シエルセーヌ 南吹田				
対象事業区域	吹田市 吹田市南吹田4丁目 13番1、水路				
※注1	生 所 大阪市阿倍野区桃ヶ池町二丁目13番号ユニー	 ティー桃ヶ池502号			
設計・代理者	株式会社 秋山土地企画研究所 氏 名 代表取締役 秋山 治				
	電 話(090) 3621 - 6803 (担当者:)			
※注1	住 所				
工事施工者	未定 氏 名				
	電 話 () 一				
	平成 24 年 (2012 年) 10 月 中旬	日から			
事業予定期間	平成 25 年 (2013 年) 8	月 末 日 まで			
	計画部分 既存部分	合 計			
	対象事業面積 21,213.79 _㎡	m 21,213.79 m			
	建 築 面 積 🖷 🔐	m ² m ²			
事業の規模	延べ面積 ㎡	m m²			
	最高の高さ m	m			
	横 造 ・ 階 数				
		地 下 階			
		新設□増設			
	□ 土地区				
	□ 建築物の新築又は増改築の事業) . / Æ CIL-28 100/ /			
 事業の目的・内容		戸))			
		共的建築物			
	□ その他(:	,]			
	□ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業	黄 受 付			
	□ その他(
環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる				
	・ガイドライン取組事項チェックリスト				
添付書類	・工事関連車輌通行ルート図				
	その他必要と認める図書	┃ 第 号			

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針 地球温暖化、資源、自然生態系などに多大な影響を及ぼす、建設業の特徴を認識し、環境に配慮し た建設に動き口じす。 た建設活動を目指す。

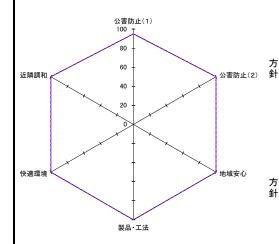
当該事業における 法規制の遵守並びに継続的な環境負荷の低減に努める。又、良好な景観形成の実現に向け、無電環境まちづくり方針 柱化に取り組みます。

- 1. 実施率と主な実施内容
- 1-1. 工事中

97.8 パーセント 実施率

実施する・一部実施するの項目数 (小数点第2位以下切り捨て) 該当なしを除いた項目数

---:方針(案), —:方針



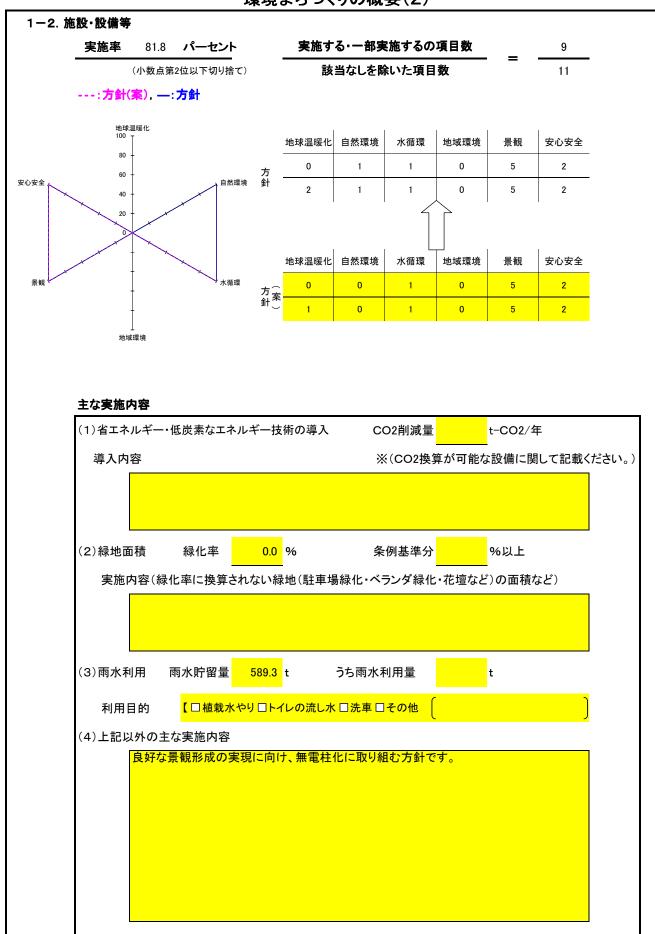
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
,	19	12	5	3	5	2
t	20	12	5	3	5	2
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
ī 案	19	11	5	3	5	2
† ₹	20	11	5	3	5	2

主な実施内容

①工事関係車両の運行ルートや時間帯は、住民の意見などを考慮し決定します。 ②騒音・振動を伴う作業は、時間帯など住民に配慮するよう努めます。

- ③低騒音型・低振動型の重機を使用するよう努めます。

環境まちづくりの概要(2)



環境まちづくりの概要(3)

2. 方針(案)からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容
26	一部実施する	実施する
27	該当無し	実施する
43	一部実施する	実施する
44	一部実施する	実施する
63	該当無し	実施しない
72	該当無し	実施する
90	一部実施する	実施する

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)							

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取 組事項を実施します。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚	染や騒音などの公害の防止します。		
建設構	雙械		
1	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設 機械を使用します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	建設機械については、低騒音型・低振動型、排出ガス対策型の重機を 使用するよう努めます。
2	低燃費型の建設機械(ハイブリッド式パワーショベルなど)を使用します。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	低燃費型(ハイブリッド型)の建設機械は、市場にあまり出回っていない 為、実施しません。
3	排出ガスの低減を図るため、アイドリングをし ません。	☑ 実施する □ 一部実施する	排出ガスの低減を図る為、不要なアイドリングを行わない様、工事施行 者に対して指導します。
4	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転 を行います。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	環境に配慮する為、不要な空ふかしを行わない様、工事施行者に対し て指導します。
5	エ事規模に応じた効率的な工事計画を立て、 稼働台数を抑制します。	☑ 実施する □ 一部実施する	効率的な工事計画を立案し、稼働台数の抑制に努めます。
6	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準 化を図ります。	☑ 実施する □ 一部実施する	集中稼働を抑える工事計画を立案し、工事の平準化に努めます。
7	機械類は適切に整備点検を行います。	☑ 実施する □ 一部実施する	機械類は定期的な整備点検を、工事施行者に対して指導します。
工事問	関連車両		
8	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しま す。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	可能な限り燃費や排ガス性能の良い車両を選定します。
9			可能な限り燃費や排ガス性能の良い車両を選定します。 大阪府条例(排ガス基準適合車での流入)を遵守します。
9	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車	□ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する	
9	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守します。	□ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する	大阪府条例(排ガス基準適合車での流入)を遵守します。
9	す。 大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守します。 工事関連車両であることを車両に表示します。 工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避	□ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する	大阪府条例(排ガス基準適合車での流入)を遵守します。 工事関係車両が判る様、車両に表示します。 工事運行ルートや時間帯は、周辺道路の状況や住民に配慮した時間
9 10 11 12	す。 大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守します。 工事関連車両であることを車両に表示します。 工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定します。 建設資材の搬出入計画において、適切な車種	□ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する	大阪府条例(排ガス基準適合車での流入)を遵守します。 工事関係車両が判る様、車両に表示します。 工事運行ルートや時間帯は、周辺道路の状況や住民に配慮した時間帯及び運行経路とします。
9 10 11 12 13	す。 大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守します。 工事関連車両であることを車両に表示します。 工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定します。 建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制します。 作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなど	□ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する	大阪府条例(排ガス基準適合車での流入)を遵守します。 工事関係車両が判る様、車両に表示します。 工事運行ルートや時間帯は、周辺道路の状況や住民に配慮した時間帯及び運行経路とします。 建設資材の搬入出は、適切な車両を選定し、台数抑制に努めます。 作業関係者の通動は、相乗りや公共交通機関の利用を奨励し、車両
9 10 11 12 13	す。 大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守します。 工事関連車両であることを車両に表示します。 工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定します。 建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制します。 作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制します。 ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しま	□ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし □ 実施する □ 一部実施する □ 実施しる □ 一部実施する □ 実施する □ 一部実施する	大阪府条例(排ガス基準適合車での流入)を遵守します。 工事関係車両が判る様、車両に表示します。 工事運行ルートや時間帯は、周辺道路の状況や住民に配慮した時間帯及び運行経路とします。 建設資材の搬入出は、適切な車両を選定し、台数抑制に努めます。 作業関係者の通勤は、相乗りや公共交通機関の利用を奨励し、車両台数の抑制に努めます。

	取組事項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際に は、騒音や水質汚濁に配慮します。	☑ 実施する □ 一部実施する	ミキサー車のドラム洗浄の際は、騒音や水質汚濁に配慮するよう、工事施行者に対して指導します。
17	工事関連車両を場外に待機させません。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	工事関係車両は場内で待機するよう、工事施行者に対して指導します。
18	クラクションの使用は必要最小限にします。	□ 実施しない □ 該当なし	クラクションの使用は必要最低限にするよう、工事施行者に対して指導 します。
19	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリン グをしません。	□ 実施しない □ 該当なし	排出ガス低減を図る為、不要なアイドリングを行わない様、工事施行者 に対して指導します。
20	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転 を行います。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	環境に配慮する為、不要な空ふかしを行わない様、工事施行者に対し て指導します。
工事方		I	
21	歴書性の高い仮囲いや防音シート・防音パネルを設置します。	□ 実施する ☑ 一部実施する	住宅などの直近の所は、H3000の万能板(金属製仮設塀)を設置します。
22	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行います。	□ 実施しない □ 該当なし	建設資材の落下の防止など、丁寧な作業を行うよう、工事施行者に対して指導します。
23	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない 工法を採用します。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	杭の施工は今の所、予定していません。
24	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行います。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	騒音や振動が伴う工事の際は、近隣に配慮した時間帯に行う様、努めます。
粉じん	・アスベスト		
25	解体、掘削作業などの際には、散水を十分に 行います。	□ 実施しない □ 該当なし	解体、掘削作業で粉塵などが起こるおそれのある場合は、散水を十分 行う様、工事施行者に対して指導します。
26	土砂などが露出して飛散のおそれがある場合は、シートで覆います。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	砂塵が飛散する恐れがある場合、住宅などと直近の所はシートなどで 飛散防止に努めます。
27	建築物などの解体の際は、アスベストの使用 の有無を調査するとともに、調査結果を近隣住 民の見やすい位置に掲出し、市長にも報告し ます。	□ 実施しない □ 該当なし	アスペストの調査をしたところ、アスペストの使用は無く、現地にて調査 結果を掲示し、市長へ報告済みです。
28	アスベストを含有する建築物などの解体の際 には、確実な飛散防止措置を行います。	□ 実施しない ☑ 該当なし	該当なし。
水質	汚濁・土壌汚染・地盤沈下		
29	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しま す。	□ 実施しない □ 該当なし	道路への土砂流出防止の為、適宜、敷地内で流出対策を講じます。
30	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶 や塗装器具の洗浄液は適正に処分します。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	造成工事の為、塗料の使用予定はありません。
31	土壌汚染の状況を調査し、汚染物質の拡散防 止措置を行います。	□ 実施しない □ 該当なし	地歴調査を実施した結果、土壌汚染が存在するおそれが無い土地で す。

	取 組 事 項	実施の有無	実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良の際は、土壌や地下水を汚染しない 工法を採用します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	地盤改良を行う際は、適切な工法を採用します。
33	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	周辺への影響を考慮した工法を採用します。
悪臭・	廃棄物		
34	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、 溶解温度管理など臭気対策を行います。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	造成工事の為、アスファルトの溶融の予定はありません。
35	現地では廃棄物などの焼却は行いません。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	現地で廃棄物の焼却は、行わない様、工事施行者に対して指導しま す。
36	解体を伴う工事の際は、保管されているPCB 使用機器、空調機器などに使用されているフロ ン類などやその他有害廃棄物の状況を工事実 施前に調査し、環境汚染とならないよう適正な 処理を行います。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	前所有者が、吹田市へ土地履歴報告書を提出され、PCB使用機器等 はありません。
37	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナ ンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を 行います。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	仮設トイレは、臭気など考慮し設置場所を決めるよう、工事施行者に対 して指導します。
地域の	安全安心に貢献します。		
38	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取 りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故 防止に努めます。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	自治会などからの御意見を参考に、適宜、交通整理員の配置などを行い事故の防止に努めます。
39	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事 現場周辺の交通安全に配慮します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	児童や通行者などが、安全に通行出来る様、交通安全に努めます。
40	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じます。	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	夜間や休日に、工事関係者以外が立ち入らない様、出入口に施錠対 策を講じます。
41	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取組みます。	図 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	児童の登下校への声がけに取り組みます。
42	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に 参加します。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	近隣自治会と協議し、出来る限り防犯活動に参加します。
環境に	こ配慮した製品及び工法を採用します。		
省エオ	マルギー		
43	エネルギー効率のよい機器の導入などにより、 工事中に使用する燃料、電気、水道水などの 消費を抑制します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	エネルギー負荷対策にともない、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費抑制に努めます。
省資源	原		
44	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	良質土は、現地埋め戻しなどで再利用し、残土の発生を抑制します。
45	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量 します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	資材梱包などは、最小限にして廃棄物の減量に努めるよう、工事施行 者に対して指導します。
快適な	:環境づくりに貢献します。		
景観			1
46	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮します。	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	仮囲いは、見た目に不快感を与えない様、景観面に配慮します。

	取組事項	実 施 の 有 無	実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
47	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を 与えないよう、設置場所などを工夫します。	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	仮設トイレは、近隣に不快感を与えない様、設置場所に工夫するよう、 工事施行者に対して指導します。
周辺の	D環境美化		
48	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周 辺道路の清掃を行います。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	エ事現場内外を問わず、ボイ捨て防止や周辺道路が汚れた場合、清 掃する様、工事施行者に対して指導します。
49	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いま す。	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	工事現場内外を問わず、ポイ捨て防止や周辺道路が汚れた場合、清掃する様、工事施行者に対して指導します。
ヒート	アイランド現象の緩和		
50	夏期において水道水以外の用水が確保できる 場合は、周辺道路などに打ち水を行います。	図 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	夏場、水道水以外の用水が確保できた場合は、打ち水を行うよう、エ 事施行者に対して指導します。
地域と	の調和を図ります。		
工事記	说明·苦情対応		
51	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにします。	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	工事時間や作業工程などについて理解を求め、工事協定書を締結します。
52	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先など を掲示するとともに、苦情が発生した際には真 撃に対応します。	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	工事に関する苦情窓口の連絡先を掲示し、真摯に苦情の対応に努め ます。
周辺の	D教育·医療·福祉施設への配慮		
53	工事実施前に工事概要、作業工程などを十分 説明するとともに、施設での行事や利用状況 に配慮した工事計画にします。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	教育、医療、福祉施設は隣接にありません。
54	騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をします。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	教育、医療、福祉施設は隣接にありません。
周辺の	D事業者との調整		
55	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めます。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	近隣で、重複する工事計画があるため、複合的な騒音、振動、粉じん、 工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するように、 事業者、工事施行者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調 整するように努めます。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するととも に、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実力	施の有無		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない 及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温	1暖化対策を行います。				
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築 物環境性能表示制度について	□ 実施する □ 実施し ⁷		実施する 該当なし	大阪府建築物の環境配慮制度、環境性能表示制度の活用について、造成工事の為、未定です。尚、計画建物へ導入出来るか否かは、検討課題とします。
57	空調、照明、給湯、昇降機などの設備について、高効率や省エネルギー型の機器を採用します。	□ 実施する □ 実施し7		実施する 該当なし	空調、照明、給湯の設備の高効率や省エネルギー型機種の採用については、造成工事の為、未定です。尚、エネファームなどを、計画建物へ導入出来るか否かは、検討中です。
58	太陽光、太陽熱、風力などの再生可能エネル ギーを活用します。	□ 実施する □ 実施し ⁷		実施する	太陽光、太陽熱、風力などの再生可能エネルギーの活用について、造成工事の為、未定です。尚、太陽光パネルの各戸導入については、計画建物へ導入出来るか否か、検討中です。
59	エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェネ レーション、ヒートポンプシステムなどの導入を 検討します。	□ 実施する		実施する	エネルギー効率の高い冷暖房、コージェネレーション、ヒートポンプの導入については、造成工事の為、未定です。尚、エネファームなどを、計画建物へ導入出来るか否かは、検討中です。
60	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを 冷媒として使用する装置を有する設備(空調機 器、冷蔵冷凍庫など)を設置する際には、設置 後に配管などからの冷漿の漏えい(使用時排 出)が発生しないよう安全設計に配慮します。	実施する		実施する	温室効果ガスを冷媒とする設備に対する安全配慮が必要となるような、 業務用冷凍庫など計画はありません。
61	採光や通風性の考慮や断熱性能を向上させる ことで、建築物のエネルギー負荷を抑制しま す。	□ 実施する □ 実施し ¹		実施する	採光や通風、断熱性能の向上によるエネルギー負荷抑制の検討は、造成工事の為、未定です。尚、計画建物へ導入出来るか否かは、検討課題とします。
62	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を 施工します。	□ 実施する □ 実施し ¹		実施する 該当なし	建築物の構造の耐久性の向上の検討は、造成工事の為、未定です。 尚、計画建物へ導入出来るか否かは、検討課題とします。
63	リサイクル製品、間伐材などの資源循環や環境 保全に配慮した製品を積極的に採用します。	□ 実施する ☑ 実施し ¹		実施する 該当なし	リサイクル製品、間伐材など再利用製品の採用は、事業採算上、導入出 来ないと考えます。
64	高炉セメントなど、製造に要するエネルギーが 少ない建設資材などを積極的に採用します。	□ 実施する☑ 実施し⁷		実施する	高炉セメントなど製造に要するエネルギーが少ない資材の採用について は、事業採算上、導入出来ないと考えます。
自然環	境を保全し、みどりを確保します。				
65	事前に事業計画地とその周辺の自然環境調査 を行い、動植物の生息や生育環境に配慮しま す。	□ 実施する □ 実施し ⁷		実施する	動植物の生息や育成状況について、昭和38年よりゴルフ練習場の為、 該当するものはありません。
66	地域のシンボルとなっていた大きな樹木は、で きるだけ伐採を避け、既存の植生や地形を活か して設計します。	□ 実施する □ 実施し ¹		実施する	大きな既存樹木など、昭和38年よりゴルフ練習場の為、該当するものは ありません。
67	既存の植生や地形を改変する場合は、移植などにより既存の植生の保全を図るとともに、表土は適切に保管し、植栽などに利用します。	□ 実施する □ 実施し ⁷		実施する	保全すべき植生や表土など、昭和38年よりゴルフ練習場の為、該当する ものはありません。
68	事業計画地に隣接する緑地などがある場合には、緑地などを連続させて配置するなど、生物の生息空間の保全に努めます。	□ 実施する □ 実施し ⁷	_	実施する 該当なし	隣接は工場、ゴルフ練習場、住宅地で隣接する緑地はありません。
69	駐車場の緑化を行います。	□ 実施する □ 実施し ⁷	_	実施する 該当なし	造成工事の為、未定です。建築時に導入出来るか否か検討します。
70	屋上緑化、壁面緑化、ベランダ緑化などを行い ます。	□ 実施する □ 実施し ⁷	_	実施する 該当なし	造成工事の為、屋上緑化や壁面緑化等、未定です。建築時に導入出来 るか否か検討します。

	取 組 事 項	実 施	の有無		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない 及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
71	開発により生じた法面に対して緑化を行います。	□ 実施する □ 実施しな		実施する 該当なし	法面は生じません。
72	植栽樹種は、地域に合わせた在来樹種を選定 します。	☑ 実施する □ 実施しな		実施する 該当なし	公園緑化の際は、地域の環境に沿った樹種で協議します。
水循環	是を確保します。				
73	雨水を利用する設備(雨水タンク、散水設備など)を導入し、水資源を有効に利用します。	実施する		実施する	造成工事の為、雨水利用設備の導入については、未定です。建物時に 導入出来るか否かは、検討課題とします。
74	事業区域の面積に応じて、雨水流出を抑制する ために、雨水貯留型施設又は雨水浸透施設等 を設置します。	☑ 実施する □ 実施しな		実施する	雨水貯留施設を設けます。
75	オープンスペース、駐車場などについては雨水 浸透に配慮し、浸透性のある舗装などの採用を 検討します。	実施する		実施する	造成工事の為、未定です。建築時に雨水浸透など導入可能か否かは、 検討課題とします。
地域σ)生活環境を保全します。				
大気·	騒音·振動等				
76	空調機などの騒音を発生させる設備の設置に おいては、低騒音型機器の採用、壁などの遮音 性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音や振 動対策を行います。	□ 実施する		実施する 該当なし	造成工事の為、未定です。建築時に空調機の低騒音型機種の採用、遮音性の壁など導入出来るか否かは、検討課題とします。
77	近くに幹線道路や鉄道があり騒音の影響が考えられる場合には、予め窓などに防音サッシを 設置します。	実施する		実施する	騒音の影響が考えられる、幹線道路や鉄道はありません。
78	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止 するため、駐車場の配置は住居に隣接しない計 画とします。	□ 実施する □ 実施しな		実施する 該当なし	造成工事の為、周辺環境に影響するような、駐車場の計画ではありません。
79	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、 換気扇、排気口、廃棄物置場の位置などに配 慮します。	□ 実施する		実施する	近隣へ悪臭や騒音が出る建物計画ではありません。
80	ボイラー、ターピン、エンジンなどの機器を設置する場合は、万全の排出ガス対策を行います。	実施する	<u> </u>	実施する 該当なし	ボイラー、タービン、エンジンなどを使用するような建物計画ではありません。
81	屋外照明や広告照明については、近隣住民に 対する光の影響を抑制します。	□ 実施する □ 実施しな		実施する	屋外照明や広告照明を設けるような建物計画ではありません。
82	建築資材(ガラス、太陽光パネルなど)による太 陽の反射光については、設置の際に光の影響 を考慮します。	□ 実施する	_	実施する	ガラスや太陽光パネルにより、反射光の影響を考慮しなければならない、大規模な建築計画ではありません。
83	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC) の含有率が低いものを使用します。	□ 実施する		実施する	造成工事の為、塗料の使用予定はありません。
84	周辺に教育施設、福祉施設や医療施設がある 場合は、騒音、振動、通風、採光などに特段の 配慮をします。	□ 実施する		実施する	教育、医療、福祉施設は隣接にありません。
中高原	層建築物(高さ10メートルを超える建築物)				
85	日照障害については、建築基準法の日影規制 対象外地域(商業と工業地域を除く)を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を 事前に把握し、近隣住民に説明するとともに、で きる限りその軽減をします。	□ 実施する		実施する	日照障害の検討の目安となる、中高層建築物の計画ではありません。
86	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明します。	□ 実施する □ 実施しな		実施する 該当なし	電波障害の検討の目安となる、中高層建築物の計画ではありません。

	取 組 事 項		実施(の 有	無		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない 及び該当なしの場合は理由を記入してください。)	
87	電波障害が生じた場合は、CATV、共同受信施 設などによる改善対策を行います。	□ 実施す	する		一部 [[]	実施する 該当なし	中高層建築物の計画ではありませんので、該当無し。	
景観ま	景観まちづくりに貢献します。							
88	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培 われた地域の個性を尊重し、地域に調和したも のとなるよう配慮します。	☑ 実施す	「る [一部	実施する 該当なし	良好な景観形成の実現に向け、無電柱化を実施します。	
89	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画と時間を設計を行います。	図 実施す	「る []	一部	実施する	近隣で行われた、区画整理事業の整然とした街並みと合う様、街並みを 計画しています。	
90	景観形成に関わるガイドラインや方針を有する エリアではガイドラインなどに配慮した計画と設 計を行います。	図 実施で	実施しない]	一部	実施する	景観形成ガイドラインに取り組みます。	
91	計画区域や建設敷地がおおむね1haを超えると きは、景観形成地区の指定について協議しま す。	☑ 実施す	「る		一部	実施する	景観形成地区の指定に向けて協議します。	
92	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進します。	図 実施す	実施しない		一部	実施する	景観形成地区の指定に向けて協議します。	
93	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、 景観まちづくりを推進します。	□ 実施す	実施しない		一部	実施する	屋外広告等を設ける計画はありません。	
安心梦	全のまちづくりに貢献します。							
94	周辺状況に応じ、計画地内において、歩行者が 安全に通行できる空間を整備します。	□ 実施す	「る 実施しない	7	一部	実施する	公園の配置を工夫し、歩行者が安全に通行できる計画を立案しています。	
95	災害時の防災対策や緊急時に対応できる設備 機器を積極的に導入し、安心安全に配慮した適 切な整備を行います。	□ 実施 ³	「る」		一部	実施する	災害時の防災対策の一貫として防火水槽や消火栓を設けます。	
96	防犯対策などに対応できる設備機器を積極的 に導入し、安心安全に配慮した適切な整備を行 います。	□ 実施す	「る [一部:	実施する 該当なし	防犯対策に対応出来る設備の導入については、造成工事の為、未定で す。	

